

八戸市新美術館整備事業の概要について

現在の八戸市美術館は、昭和 61 年に県内初の博物館法に基づく美術館（登録博物館）として開館して以来、当市の文化芸術活動の振興に大きな役割を果たしてきました。

しかしながら、建物は昭和 44 年に建設された旧税務署庁舎を全面改装したもので、施設の老朽化や、魅力的で自由度の高い芸術作品の鑑賞空間確保など、課題が表面化しており、長年多くの市民の皆様から新美術館の整備が期待されて参りました。

このような背景から、このたび、活発に展開される市民の皆様の文化芸術活動の拠点と、「アートのみちづくり」の中核施設としてふさわしい、新美術館整備のための準備が始まったところです。

1. 新美術館整備全体スケジュール

- ・ H28 年度：基本構想策定、設計者選定（基本設計業務）、管理運営基本計画策定着手
- ・ H29 年度：基本設計完了、実施設計着手、現美術館解体、地質調査実施
- ・ H30 年度：実施設計完了、建設工事着手
- ・ H31 年度：建物完成
- ・ H32 年度：外構工事、美術館開館予定

2. 整備予定地

新美術館は、現在の市美術館及び隣接する市有地及び、青森銀行八戸支店の敷地とを合わせた区域内で、銀行の新店舗整備と一体的な協調開発を行い、効率のよい配置を検討します。

3. 設計者について

設計者選定のため公募型プロポーザルを実施したところ、全国から 138 者の応募がありました。当市では初となる公開プレゼンテーションなどの審査を経て、「西澤徹夫建築事務所・タカバンスタジオ設計共同体（東京都）」を選定しました。

4. 今後の進め方

設計者と打合せを進める一方で、国内外の美術の動向や先進事例、当市の文化政策等に精通した専門家で構成する「新美術館運営検討委員会」において管理運営基本計画策定に向けた検討を行います。また、市民の皆様や関係団体の方々との意見交換会・勉強会や開催します。

市民の皆様と一緒に創る美術館として、積極的に情報発信を行いながら整備を進めて参ります。

八戸市新美術館整備基本構想の概要について

1. ビジョン

アート・エデュケーション・ファーム
～種を蒔き、人を育む、100年後の八戸を創造する美術館～

「八戸の美」に迫る

「八戸の人」を育む

「八戸のまち」に波及させる

2. ミッション

① 「八戸の美」に迫るために

- ・日常生活に潜む美をアートの力で可視化・資源化し世界へ発信
- ・収蔵作品やアート活動を地域の宝として記録・保存し後世へ継承
- ・八戸でしか作り得ない作品が生まれる環境を創出

② 「八戸の人」を育むために

- ・本物の美術と向き合える体験機会と創作・表現活動の場を提供
- ・新しい視座で新しい価値や関係性を創る人が生まれる環境を整備
- ・生きたコミュニケーションの場や生きる力を体得できる場を構築

③ 「八戸のまち」に波及させるために

- ・様々なアート活動から新たな活動の発展につながる交流の場を創出
- ・アートが身近に感じられる環境を創出
- ・市内や北東北の各圏域と密接につながった双方向的な活動を展開

- 従来の「美術館機能」と文化政策の司令塔としての「アートセンター機能」に、「エデュケーションセンター機能」の3つの軸を併せ持つ美術館として整備。「博物館相当施設」としての整備を検討。

新美術館

アートセンター機能

エデュケーションセンター機能

美術館機能

3. アクシオン

(1) 事業展開

グローバルミュージアム事業

- ・地域性にこだわり八戸を世界とつなぐ美術館事業 (調査研究、収集保存、展示等)

アートエデュケーション事業

- ・文化とまちをつくる人を育む共有普及事業 (大学・高専連携、エデュケーションプログラム開発等)

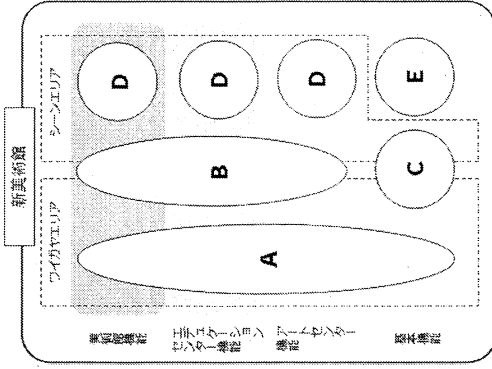
アートのまちづくり推進事業

- ・アートの力をまちを動かす力に変える文化創造事業 (多文化推進、アートプロジェクト、情報発信等)

(2) 施設整備方針

3つの機能が複合的に事業展開できるよう、フレキシブルな使い方が可能な空間整備を検討するほか、いつも活気があり、創造の種が生まれる雰囲気のある「ワイガヤエリア」と、非日常的な空間としての「シーンエリア」の2つの顔を持つ美術館としての整備を検討する。

- 「A」：入場者及び運営スタッフが相互交流できる開放的ゾーン
- 「B」：自由度の高い利用を可能とするゾーン
- 「C」：「ワイガヤエリア」と「シーンエリア」をつなぐゾーン。
- 「D」：美術館としての非日常性や風格を漂わせるゾーン
- 「E」：関係者専用ゾーン



4. 整備プラン

整備スケジュール

- H28：基本構想策定、設計者選定
管理運営計画策定着手
- H29：基本・実施設計、建物解体
- H30：建築工事（～H31）
- H32：開館予定

設計者選定

設計段階で多様な意見を反映できよう、公募型の企画提案方式（プロポーザル方式）を採用する

<建設予定地>

